

コラム連載100回を記念して

〈サロン・あべの〉3月の出会い

平成19年3月17日(土)〈サロン・あべの〉3月の出会いは、「サロン・あべの」紙にエッセー「晴れのち晴れ」の連載をしていただいている稲垣恵雄(≡写真3頁)さんに100回の連載を記念して、お話を伺いました。

「晴れのち晴れ」と私

みなさん、今日は。ここへ寄せてもらったのは今回が2度目です。確か1回目に寄せてもらったのは4年前の3月だったと思います。

今回は「晴れのち晴れ」と私、というテーマでお話をさせていただけます。早いもので「晴れのち晴れ」のコラムを書かせてもらって今年の1月で100回になりました。ここまで続けてこられたのも「サロン・あべの」紙

の編集部の方や会員のみなさんのおかげです。正直、自分でもこれまで続くとは思わなかっただけにびっくりしています。それと

言いますのも最初は軽い気持ちでお引き受けたのですが、回を重ねるごとにだんだん書く材料がなくなり、不安になってきたからなんです。

タイトルの件なんです、最初、富田さんが「晴れのち晴れ」と他に2つのタイトルの中から選ぶように言ってくださいました。結局、私は「晴れのち晴れ」が気に入ったので、これに決定させていただきました。

初めのうちは原稿用紙1枚半、いわゆる600字にまとめて書いていたのですが、編集の都合でもう2行、40字ほど増やしてほしいと言われ、それから640字にまとまるように心がけました。そのためでしょうか、他から「ちょうど3枚でお願いします」とか「5

枚びつしりに書いてほしい」と頼まれると、その通りに書けるようになりました。

先程も申し上げましたように100回続いたことも驚きですが、1度も休まずに書いたことに自分でもびつくりしています。でも今だから言うのですが、こんなことがありました。

それは4年前の11月のことでした。私は貧血で近くの病院に20日間ほど入院することになったのです。でも富田さんには入院することは言わずに「どうしても原稿が遅れますので1回休ませてください」と申し上げました。すると富田さんの方から「コラムの字数も決まっていますので少々おくれても待っています」と言われたので、その通りにさせていただきました。だからその月も休稿することなく続けられた次第です。

何回目からか覚えていませんが、「晴れのち晴れ」のコラムにイラストを描いてくださるようになりしました。イラストを描いてくださるようになってからは拙ない文章も生き生きとしたものになり、内容もより分かりやすくなってきたのではないかと思います。それだけにイラストを描いてくださっている方には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。

私も以前にパステル画を習っていたので、自分でイラストを描いてみたいという思いがありました。でもいざ絵筆を持つとスケッチブックを描くと、絵心がないのか描いている絵が字のようになり、逆に字を書いていくと絵のようになつたりしてどうもうまくいきません。困ったことです。

今回こうしたお話をさせて頂

いたのを機会に100回分の「晴れのち晴れ」のコラムをざつとふり返ってみました。ふり返ってみて感じたことは1回1回テーマがちがうのにどれも同じような内容で、いかに類似作が多いかということでした。

その決定的なことが昨年11月にありました。11月なので3日の「文化の日」について書いて送稿しました。すると折り返しその原稿と、5年前の11月号の掲載のコピーしたものが届いたので。早速、両方の文章を照らし合わせてみると、ほんの数行違うだけで、その上最後に添えた俳句までまったく同じでした。

それですぐに別の内容の原稿を書いて送ったのですが、書き手にとってこれほど恥ずかしくて自分を責めたことはありませんでした。ただ一言弁解を許してもらえるのならこれが他の人の書いた原稿なら完全な盗作ですが、いくら類似作であっても自分が書いたものなので、その分いささかほつとしています。それにしても編集部の方がよく調べてくださったと、頭の下がる思いです。今更言うまでもなく

活字になってからでは既に遅く「あとの祭り」になってしまいました。「晴れのち晴れ」をふり返ってみて類似作の他に矛盾したところや間ちがったことを書いたりして深く反省しています。

このような文章しか書けないし、「晴れのち晴れ」も100回という節目なのでこれで終わらせてもらおうと思っていました。ところが富田さんから「続けて書いてほしい」と言われ、厚かましく続けて書かせてもらっています。

最初にも申しましたように「晴れのち晴れ」のタイトルがす



ごく気に入っています。実際のお天気は「晴れ」のあとは「くもり」になったり「雨」になったりしますし、日常生活でも決して良いことばかりではありません。でも、どんな困難なことが起こっても「晴れのち晴れ」の気分でおりたいと思います。

最後に、「好きな詩」と「好きなことば」を披露して、終わりにいたします。

編集部の方や会員みなさん、本当にありがとうございます。

私の好きな詩

こんな顔で

作・相田みつを

宮沢賢治の詩にある

「雨ニモマケズ 風ニモマケズ」

というのは

こんな顔の人をいうのだろうか

この顔は

かなしみに堪えた顔である

くるしみに堪えた顔である

人の世の様々な批判に

じつと堪えた顔である

そして

ひとことも弁解しない顔である

なんにも言いわけをしない顔である

ある

そしてまた

どんなに苦しくても

どんなに辛くても

決して弱音を吐かない顔である

ゼツタイにグチを言わない顔である

ある

そのかわり

やらねばならぬことは

ただ黙ってやってゆく、という

固い意志の顔である

一番大事なものに

一番大事なのちをかけてゆく

そういうキゼンとした顔である

この眼の深さを見るがいい

深い眼の底にある

さらに深い憂いをみるがいい

弁解や言いわけばかりしている

人間には

この深い憂いはできない

息子よ

こんな顔で生きて欲しい

娘よ

こんな顔の若者と

めぐり逢って欲しい

以上

私の好きなことは

□一期一会（いちごいちえ）

——茶会の心得。一生に一度限

りであること。

□和顔愛語（わげんあいご）

——人に出会ふと柔和な顔で、

やさしい言葉をかけて接するこ

と。

□無力の同伴者

——上から見下ろしたり、高飛

車にものを言ったりするので

なく、相手と同じ立場、視線で接

すること。

□墨の玄（すみのくろ）

——墨汁はまっくらだが、擦つ

た墨は少し薄い。そこから墨の

玄とは、まっ黒の一步手前の明

るさを指し、控え目とか余裕・ゆ

とりを持つという。

□花の咲かない冬の木は下へ下

へと根を張る

——誰でも目立ちたいものだが、

花が開くまで、じつとがまんを

して努力すること。

（参加者18名 山村貴司）

晴れのち晴れ-103-

稲垣恵雄

□かわいいのは？ こわいのは？ ②

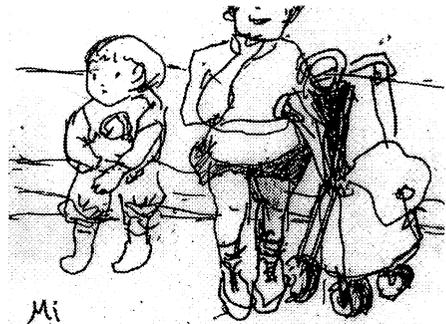
最初は水風呂だったので子供がかわいそうだと思って、石川五右衛門が肩車をしていた。でもだんだん湯が沸いてきて熱くなってくる。そうすると五右衛門は辛抱できなくなり、肩車をしていた子供を自分の足元に置いて少しでも熱さから逃れようとする。しかし最後には2人とも熱湯で死んでしまうが、結局子供を犠牲にしてまで助かろうとする五右衛門も自分がかawaiiからである。

ちなみに五右衛門親子が刑に処せられた時に用いられたという五右衛門風呂がある。これは槽の底に平釜を取りつけたかまどを据えつけて下で薪をたいて沸かす風呂のことだが今でも親戚にあって使っている。若い頃に1度だけこの五右衛門風呂に入れてもらったことはあるが、私は足が不自由な

ために四苦八苦しなながら入ったことを覚えている。もう2度と入りたくないと思った。

話は横道にそれてしまったが、前述のある人が「孫がかawaii、子供がかawaiiと言うが、詮じつめると自分がかawaiiのである」と言われるように、私も自分の経験から素直に頷ぶことができるのである。

お恥ずかしいことだが、例えば私は平生、「どんなことが起こってもみんなで力を合わせて対処しような」と家族の者に言っておきながら、いざ地震や火事が起きると自分は我先に逃げて行くのに違いない。申すまでもなく自分がかawaiiからである。（つづく）



Mi

みんな愛しい

「晴れのち晴れ」1000回達成おめでとうございます。

いつも感心して拝読している68歳のおばちゃんです。

102回の「かわいいののは？」

「こわいのは？」のお話で母を思い出しました。

母が特別可愛がっていた私の長女の反抗期、

「お前を困らせるあの子が憎らしい」

「へエー 私より可愛いんじゃないの」

「血の濃い順だろうね」と言うのでびっくり。

誰が誰より可愛いではなく、自分に連なる者すべてが愛しく、誰一人つらい目にあつてほしくない思いだったんでしょう。

でも、その時の母の言葉は忘れられません。

次回、石川五右衛門の続きが楽しみです。

(富田万里子)

平成18年度 <サロン・あべの>の活動と毎月の出会い

平成18年度活動テーマ *オンリーワン、私のサロン*

月 日	会 場	毎 月 の 出 会 い	お 客 さ ま
平成18年 4月15日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	地域番信画と阿倍野区アクションプラン	黒田隆之さん(桃山学院大学専任講師・阿倍野区地域番信画計画スーパーバイザー)
5月20日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	糸あそび ~消臭糸でボンボン作り~	池内紗織さん(「手抄線工房」主宰)
6月17日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	みらいをつくろう!みらい塾	河内崇典さん (NPO法人「み・らいず」代表)
7月15日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	はあとびあ ~王子書店の心をのせて~	上田宏子さん (王子書店・店長「はあとびあ」主宰)
8月6日・日	工芸高校グラウンド	第33回あべのカーニバル・なんでも市通りに「さろん亭」開店	
9月16日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	特別養護老人ホームと 地域とのコミュニティー	安藤れい子さん (すみれ会「サロンのたま」代表)
10月21日・土	国立国際美術館	特別展「エッセンシャル ペインティング」	「小川信台画展」と館内見学
11月18日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	「谷間」にこだわり続けて	赤松昭さん (NPO 法人大阪府障害者サポートセンター理事長・甲子園大学専任講師)
12月2日・土	アポロビル9階 中華料理店・「楓林閣」	サロンの食事会 ~お昼ながら話しましょ、うれしいこと たのしいこと~	
平成19年 1月20日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	気軽に楽しくワインを♪♪♪~	谷本仁子さん(ワインアドバイザー)
2月17日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	原作:田辺聖子「ジョゼと虎と魚たち」DVD鑑賞	
3月17日・土	育徳コミュニティー センター2階研修室	「晴れのち晴れ」と私 ~コラム連載100回記念~	稲垣恵雄さん

●その他の活動

口 御堂筋チャリティバザー(いきいき市民推進室)で、サロングッズ販売(H18年4月27日~28日 大阪ガスビル・御堂筋にて)

口 「地域の福祉環境を考える会」 毎月例会に参加

口 <サロン・あべの>紙 毎月第3土曜日発行

口 <サロン・あべの>紙 毎月音訳テープ作成(協力=音訳ボランティア・グループ「糸でんわ」)

口 さろん文庫開設=毎週金曜日午後1-4時(阿倍野区在宅サービスセンター・ビューロー室)

口 さろん文庫本、音訳テープ作成=音訳ボランティア・グループ「糸でんわ」

口 広報活動=アベノ・タウン紙、ボランティア情報誌「コンポ」、他区サロン紙

口 サロングッズ制作と販売=<サロン・あべの>10周年記念誌「はあとが、はろー!」、一筆箋、

絵はがき「童謡♪絵はがき・雨・花Ⅰ・花Ⅱ・汽車・海・正月

・冬・春」「花だより」「新・わがまち阿倍野」、

阿倍野いろはがるたなど

36



邦子、 ..ん歳の手習い。

パークレー旅行①

3月末に姉と2人で、サンフランシスコとパークレーに旅行に行きました。サンフランシスコには2日間滞在し、ホテル近辺のチャイナタウンやフィッシュマンズワーフを歩くというような気楽な観光をしました。

パークレーには4日間滞在し、21年前にお世話になったアイリーンさんとスーザンさんに会うことができました。今回はアイリーンさんのことをお話したいと思います。アイリーンさん(59歳)は、ユダヤ系アメリカ人で、夫と息子2人の家庭の主婦です。21年前に、私の夫がパークレーに留学していた時に、現地

のYWCAの紹介で私と姉にボランティアで英会話を教えてくれました。アイリーンさんの夫は元海軍のお仕事をしていた関係で、結婚間もない頃、日本の横須賀に住んでいたことがあり、日本語が少しだけ話せました。また、ボランティア精神にあふれていて、日本人の多くの学生さんをホームステイで、受け入れていました。当時、私と姉はアイリーンさんのお宅を週1回、英会話を勉強するために、訪問していましたが、勉強というよりも、日本語を交えながらの楽しい雑談という感じで、パークレーでの生活の仕方など有意義なたくさんのお話を教えていただき、助かりました。

私の亡くなった夫も一緒に、何度もアイリーンさんのお宅を訪問して、手作りのケーキとコーヒーをご馳走になりながら、みんなで楽しくおしゃべりした思い出があります。最初に会ってから、21年が過ぎた今回の再会では、お互いの年齢をいいあいながら、昔はみんな若かったなどと昔をなつかしみ、亡くなった夫の話になると涙ぐんだりしながらも、楽しいお昼の一時を過ごすことができました。アイリーンさんは、現在、コミュニティーカレッジで移民の方々に週3日、非常勤で英語を教えています。老人問題を抱えています。ご自分の両親とご主人のお母さんが高齢で、

パークレーとは遠く離れたシカゴに住んでいて、お父さんは病気で入院を繰り返しているということ。ご両親の近くに住む妹さんが面倒をみているのですが、アイリーンさんもできるだけ、シカゴに行き、ご両親と一緒に過ごす時間を作っているということ。ご両親、ご主人、息子さんを含め、家族を最も大切にしているところなど、日本と同じだなと感じました。

今回、私たちが行った時は、数日後にはシカゴに行く準備などで忙しかったはずですが、暖かく迎えていただき、お互いに年はとっていても、昔と変わらない様子を私たちはほっとしたと同時にとてもうれしかったです。

(定藤邦子)

ありがとうございます。

カンパ、お茶の葉・お茶菓子の寄贈、また、サロングッズのお買い上げなどありがとうございます。ございました。

カスターネット、岡知史、小西京子、小西千代子、澤田妙子、高濱吉増、野村嘉寿子、山本敏子、その他の方々。

(敬称略)

お知らせ

〈サロン・あべの〉5月の出会い

内容：障害と健康く障害を持つ人に対する歯科的支援く

お客様：周山逸人さん（医師、元・平野リハビリセンター所長）

貴島徹彦さん（歯科医師）

日時：5月19日（土）午後1く4時

場所：育徳コミュニティセンター

2階研修室

（スロープ・車いすトイレ有）

阿倍野区阪南町5-15-28

TEL 06-6621-1901

最寄り駅：地下鉄御堂筋線「西田辺」

会費：なし

問い合わせ先：

TEL 06-6691-1028（富田）

声で読書のお手伝い

音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で〈サロン・あべの〉紙第249号の音訳テープが出来ました。

■音訳テープ文庫

- (a) 〈サロン・あべの〉紙は、第1号より第249号までそろっています。
- (b) 〈サロン・あべの〉十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」（作・絵 中川勝彦）
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「〈サロン・あべの〉平成7年5月の出会い」放送分（30分）
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸でんわ音訳DJ)
- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
- (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ぼけっと音訳)
- (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
- (o) 「もうちょっと知っとく？ 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
- (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
- (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
- (r) 「勁くしずかに」(河野勝行 編・著＝糸でんわ音訳)
- (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
- (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
- (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～ (加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
- (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ

ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田 (☎06-6691-1028) まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

インターネットは世界を変える

私はもちろんインターネットをはじめとする

情報技術の専門家ではないが、失礼ながら、たぶんこのサロン紙の読者の大半もそうだと思うので、私の生半可な知識も少しは役にたつかも知れないので書いてみることにす

る。「インターネットは世界を変える」という

言葉は、きつとみなさんも何度も聞いてきたことと思う。しかし「なにが変わるものか。ちよつと買ひ物が便利になったり、メールで連絡できるようになったりするぐらいのことじゃないか」と、大部分の人は軽く見ていると思う。実は私もそうだったのである。

車が最初に道路を走ったときも多くの人は、それが社会を変えるとは考えていなかった。「馬よりも少し早いだけじゃないか。それに馬と違ってガソリンとやらが必要だ。これは不便に違いない。」たいていの人は、それくらいにしか思っていなかったと思う。

ところで、私のパソコンはときどき調子が悪くなる。そのたびにパソコンの会社に電話する。普通に電話するのだが、対応してくれる人の名前は必ず外国人なのである。「ずい

絵葉書の

わさび畑を見ていれば
つんとあなたに会いたい心

—— 儀 万智

(とれたての短歌です)

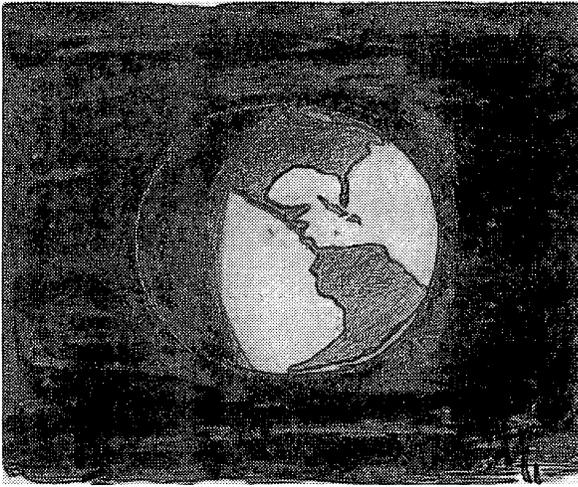
サロンの一筆箋

一冊一〇〇枚綴り一五〇円

ぶんたくさん外国人を雇っているのだなあ」と思っていたが、よくよく調べてみるとパソコン購入後のサービスをする会社は中国にあった。

つまり、私は国内に電話をしているつもりだったが、実は海外に電話をしていたのである。国際電話という料金が高いようだが、インターネットを利用すれば無料である。私の電話は、私の知らない間にインターネットを通じて中国の会社につながっていたのである。

インターネットを使えば、通話は地球上の





20年続いてきました「魅惑のシャンソン」は大阪市の財政改革によりピロティホールの廃止が決まり、今回をもって最終回となりました。最後のステージ、心をこめて歌います。

プログラム＝青葉城恋唄
 クスノキのうた
 カレンダー
 千の風になって 他
 日 時＝5月27日(日)
 開場 14時30分
 開演 15時
 会場＝森ノ宮ピロティホール
 入場料＝前売 ¥5000
 当日 ¥5500
 (全指定席)
 演奏＝西川真グループ
 江草啓介 (ピアノ)
 共演＝松岡智子 谷崎美智子
 チケット取扱・ご予約・お問合せ＝
 奥田真祐美音楽事務所
 TEL・FAX 06-6692-8774

どこにかけても無料である。というわけで、いまでは多くのインド人がインドに住んだままアメリカ人の家庭教師をしている。インド人とアメリカ人の賃金格差を利用して、アメリカ人は格安の料金でインドの優秀な家庭教師を雇うことができる。インターネットではカメラも使えるので、テレビ電話のように話すことができる。

世界が一つになった、便利になったと喜ぶこともできるが、いまあげた二つの例からいうと、コンピュータ購入後の顧客サービスが、電話でできる仕事といっても、インターネットは声だけではなく、映像や測定器具からのデータなども送ることができる。したがってその仕事の内容は非常に広い。たとえば

電話でできる仕事といっても、インターネットは声だけではなく、映像や測定器具からのデータなども送ることができる。したがってその仕事の内容は非常に広い。たとえば、カメラを使えば、元気がない庭の木をうつして、その画像をインターネットに送るとで遠い外国の専門家のアドバイスを受けることもできるのである。比較的賃金の高い日本では、多くの人が職を失うことにもなりかねないだろう。しかし逆に、新しい仕事のチャンスも出てくるはずだ。それが何なのか、私にはわからない。わかることは「大きく変わる」ということだけである。その覚悟だけはしておかなければならないと思う。

(知)

Mai スウェーデン 留学記 7

春の訪れーグラッド・ポスク（ハッピー・イースター）ー

スウェーデンも3月最終日曜日からサマータイムになりました！まだまだ春という感じではありませんが、サマータイムと同時に少しずつ太陽の光も強くなり、春が近いことを感じる頃です。

この4月頃になると、スウェーデンは春の訪れを祝う伝統行事、イースター（復活祭）があり、街はイースターグッズのひよこやエッグ、ラッパスイセン、イースター・カラー

である黄色で飾られ、急に明るく華やいだ雰囲気になります。

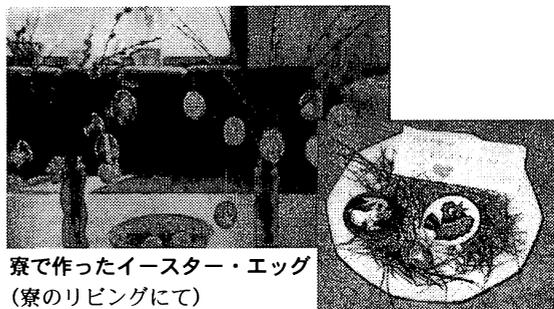
もともと、イースターは、キリストの復活を祝うお祭りで、キリストが十字架にはりつけになった後、3日目に復活したことを祝い、春分の日後の最初の満月の夜以降の日曜日に行われます。わかりにくいですが、毎年イースターの日は変わり、今年は4月8日に行われます。スウェーデンはもとのキリスト教と関連した意味合いは現在、薄れ、季節の再生と春の訪れを祝うという意味を重要視しています。

イースターのシンボルは卵とウサギ。生命を生み出す卵と多産のウサギが春の訪れを表しています。子ども達は、イースターの朝、家の中に隠されたイースター・エッグを探します。イースター・エッグにはたくさんのお菓子が詰め込まれているのです。昔は魔女の存在が信じられていたスウェーデン。「グッド・フライデー」と言われるイースターの金曜日の夜、魔女達は箒に乗ってドイツの悪魔のもとを目指して飛んでいくというのです。その名残が残ってイースターの晩には魔女を

追い払うために焚き火がたかれ、子ども達は魔女の格好をして近所の家を回って、お菓いやお小遣いをもらいます。ちよつ

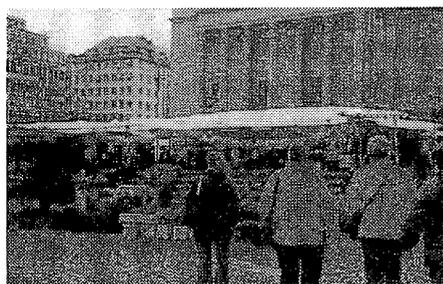
とアメリカのハロウィンに似ているでしょう？日本には馴染みがない習慣なのでわかりにくいですが、宮崎駿監督のアニメ『魔女の宅急便』をご存知でしょうか？映画の背景はスウェーデンなので街の様子や景色、魔女伝説にも触れられ、より身近に感じられるかもしれません。

さて、イースターときは休暇が1週間ほどあるので、ほとんどのスウェーデン人は旅に出たり、学生であるなら実家に帰ったりし



寮で作ったイースター・エッグ
(寮のリビングにて)

ハンガリーの留学生が朝ドアの前に置いてくれたイースター・チョコレートとカード



イースター前の市場。スイセンや色とりどりの花、イースターの飾りの羽でいっぱい
(ストックホルム・ヒョー トーリエット)



フィンランドのイースター時に食べられるお菓子「マンミ」の試食会 (寮のリビングにて)

様をつけて、最後の仕上げに油を塗って艶を出したら出来上がりです。同じヨーロッパでもハンガリーとドイツで、少し作り方が違うので言い合いになりちよつとした『エッグ戦争』も楽しめました。東欧は宗教的な意味合いで大切にしているハン

ガリーの人達。その留学生もハンガリー式のイースターを伝えようと、イースター当日には、私達の部屋の前に、「ハッピー・イースター」と書かれたカードとチョコレートを置いてくれていて、驚かせてくれました。男性は知り合いの女性に香水をかけるという習慣も体験させてくれました。もともとは香水の代わりにお水をかけるという、女性を花に見立てての習慣がイースターにできたそうです。聞いていても全然イメージのわかかなかったイースター。日本にいれば全然関係もなかったでしょう。それが、ヨーロッパの素敵な習慣に出会えたのです。そして、自分達の持っている文化に誇りを持って、そういう習慣の持たない私にいろいろと教えてくれ、体験させてくれた寮の仲間感謝しています。私にとつては忘れられない、素敵な「イースター休暇」を過ごすことができましたのです。

私達が過ごした寮に、今もあの夜私達が作った「寮でみんなと過ごした最高の思い出のシンボル」のイースター・エッグがあるでしょうか・・・

(清原 舞)

ます。クリスマス休暇のときと同じように、寮には留学生組しか残らないという、ちよつぱりいつもより静かで寂しくなります。

そんな空気を払おうと、私の寮では、フィンランドの留学生が、フィンランドでイースターに食べるというお菓子、「マンミ」と呼ばれるものを食べさせてくれました。見た目はチョコレイト。でも、味は甘くないサツマイモのような、なんとも言えない不思議な味です。そのままでは食べにくいので、砂糖と牛乳をかけて食べるようにしています。一口食べた後、みんなが複雑な顔をするのを見て、面白がっていた彼女も「あんまり好きじ

やない食べ物」だったのです。その不思議な食べ物マンミは、ライ麦からできているということでした。

またイースターの前夜は、ハンガリーとドイツから来ていた寮の留学生仲間が企画した「イースター・エッグ作り」。同じ寮の留学生達と一緒に「イースター・エッグ作り」に取り組んでいました。ハンガリーの留学生がエッグの作り方を教えてくれ、早速取り組みました。生卵をキレイに水で洗い、卵の上下に軽く穴を開け、上の穴から思いっきり吹いて中身を出します。卵の中身が全部出たら、またキレイに中を洗って、自分の好きな色や模様をつけて、最後の仕上げに油を塗って艶を出したら出来上がりです。同じヨーロッパでもハンガリーとドイツで、少し作り方が違うので言い合いになりちよつとした『エッグ戦争』も楽しめました。東欧は宗教的な意味合いで大切にしているハン

ガリーの人達。その留学生もハンガリー式のイースターを伝えようと、イースター当日には、私達の部屋の前に、「ハッピー・イースター」と書かれたカードとチョコレートを置いてくれていて、驚かせてくれました。男性は知り合いの女性に香水をかけるという習慣も体験させてくれました。もともとは香水の代わりにお水をかけるという、女性を花に見立てての習慣がイースターにできたそうです。

美智子のこんな話

岸田美智子

トイレマップカレンダー

アクションプランについての動きをこのコーナーで何回も書かせていただいています。が、今回も高齢・障害者部会の定例会の報告をさせていただきますと思います。

「トイレ貸します一声運動」を現在展開中ですが、もうすでに協力施設が57件集まっています。この57カ所に「トイレ貸します」O Kシール」を貼っていきますが、このシールは500枚つくりました。そのシールをとりあえず高齢・障害者部会の委員のメンバーで貼っていくことになっています。

この運動の地域住民への呼びかけや啓発については引き続き社会福祉協議会が中心にな

って呼びかけていくことになりました。

3月10日「住吉区まちづくりフォーラム2007」というイベントがありました。そこにも参加し、パネルディスカッション「住民主体のまちづくり活動の展開」で、高齢・障害者部会のコーディネーターである、ライフサポート協会の村田さんがこの部会の動きを報告し、協力員募集を呼びかけました。また、連合町会、役員会、委員会にもこの運動を説明し、協力していただけることになりました。

そして、現在も地域分担して部会のメンバーが引き続きこの運動を呼びかけています。が、これまでに一応集まった57カ所の情報をマップにつくっていくことになっています。そのつくり方について話し合い、次のような案が出ました。

- 毎年町会で1軒1軒配っている地図に入れてもらう
- 持ち運びに便利なサイズの地図を作る
- 手帳についている住所録のように別枠で小冊子にして手帳につけて販売する
- トイレマップカレンダーをつくって販売するなど。

いずれにしても市大から提案されている高

齢・虚弱者支援マップづくりと共同で考えていくことになりました。トイレマップカレンダーや毎年配る町内会の地図は毎年つくりかえるので、トイレ情報も更新できるので、便利ではないかという意見が出ました。

「トイレマップカレンダー」なんてちょっと便利かも！ と私は思いましたが皆さんはどうですか？

そのあと、最近障害者の問題ばかりをこの部会で取り組んできましたが、そろそろ高齢者問題も平行してやっていきたいので、高齢者と障害者の共通した問題で、この部会で取り組んでいけそうな内容を募集することになりました。さて、どんなテーマが出てくるのか楽しみですね。

〔連絡先〕

自立生活センターMYDO（まいど）

担当者 岸田美智子

大阪市住吉区长居西1-9-12

TEL 06-6609-3133

FAX 06-6609-3210

メール cil-mydo@jasmine.ocn.ne.jp



5月はどこのサロンの、
どのテーマが
お気に入りですか。
いい出会いしませんか。

大阪市西区新町 4-5-14 ☎06-6539-
8075地下鉄＝西長堀駅 4-A号 出口から
すぐ 市バス＝地下鉄西長堀駅からすぐ

内 容：みんなで昔の思い出を語りましょう！

会 費：なし

問い合わせ先：関口 ☎090-4281-5641

■「サロン淀川」5月の出会い

日 時：5月20日（日）午後1時30分～4時

場 所：淀川区民センター「やすらぎ」

大阪市淀川区三国本町 2-14-3

内 容：手抜きうどんってどんなんや

～簡単に家庭で手打ちうどんを作る～

パネラー：羽毛田暁（うもうだひかる）氏

「はなたれ苦楽歩」うどん部員

会 費：なし

問い合わせ先：淀川区社協（ボランティア・ビュー

ロー）☎06-6394-2900

E-mail：sorajii@iris.eonet.ne.jp

■「サロン・にしよど」5月の出会い

日 時：5月26日（土）午後1時30分～3時30分

内 容：ハンドベルの音色とともに

ゲ ス ト：演奏「ティンカーベル」の皆さん

会 費：なし

問い合わせ先：中本 ☎090-9864-9678

■「サロン北」5月の出会い

日 時：5月19日（土）午後1時30分～4時

場 所：障害者福祉作業所センター「たけのこ」

大阪市北区本庄東 2-6-11 宝来堂ビル1階

本庄川崎公園北側緑色のテントのあるビル

内 容：未定

会 費：なし

問い合わせ先：サロン北・事務局、担当＝谷口政美

☎06-6372-8074

FAX06-6372-8867

■「ウイズ東淀川」5月の出会い

日 時：5月13日（日）午後1時30分～4時

場 所：ギャラリーNOVA 自由空間

〒533-0032 大阪市東淀川区淡路5-10-7

☎06-6320-7036

内 容：未定

会 費：なし

問い合わせ先：鈴木昭二

☎06-6340-3082

FAX06-6340-3012

■「サロン・にし」5月の出会い

日 時：5月12日（土）午後2時～4時

場 所：西区在宅サービスセンター、第1会議室

■「サロンいたみ」5月の出会い

日 時：5月26日（土）午後2時～

場 所：伸幸苑 伊丹寺本町 6-150

☎0727-78-6765

内 容：音遊び～皆さんと一緒に楽しみましょう～

会 費：なし

問い合わせ先：安藤れい子 ☎072-784-1718

微笑みの5月

暖かな雨を道連れに

いつそう楽しく

はでやかに

装いこらして

微笑みの5月が

やってくる

「童謡♪絵はがき」

- ・ 背くらべ
- ・ 5月の歌
- ・ 茶摘み
- ・ コイノボリ
- ・ 鯉のぼり



え：石田美禰子

寄りみち



「童謡♪絵はがき・5月」の中に、こいのぼりの歌は2つあります。「ヤネヨリタカイコイノボリ・・・」が「コイノボリ」で、「曇の波と雲の波・・・」が「鯉のぼり」です。「コイノボリ」は昭和6年、「鯉のぼり」は大正2年に作られています。「鯉のぼり」の方は難しい言葉やなじみ薄い表現がいくつかあるにもかかわらず、広く受け入れられ、歌いつがれてきました。そして2つとも、今も子どもの日の頃になるとラジオやテレビなどからあたかもテーマソングのように流れてきます。(石)

<サロン・あべの>VOL.250 発行：平成19(2007)年4月21日 定価¥100
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212
 ホームページ：http://pweb.sophia.ac.jp/~t-oka/salon/ 「サロン あべの」でも検索できます